2024　年度 授業計画(シラバス)

学　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	チーム医療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	泉谷　信行	実務経験とその関連資格	大阪市立総合医療センターで診療放射線技師として勤務。主業務は救命救急、血管造詣検査、CT検査、X-TV検査、放射線治療などを行っていた。			

《授業科目における学習内容》

今日の医療において必要不可欠となっているチーム医療に関する講義を行う。チーム医療の起源、その必要性に始まり、各医療職の集合であるがためのチームとしての倫理を解説する。加えて、その実例として放射線治療、栄養指導、理学療法、感染対策などの例を提示する。今後のチーム医療のあり方など講義を通じて考察することができるようになる。

《成績評価の方法と基準》

受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。
①素点(筆記試験)　70%
②出席評価点　20%
③平常点(授業へ取組む姿勢)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書:チーム医療論
鷹野和美　編著／石倉隆・岡本珠代　ほか著
医歯薬出版株式会社　2002年11月

《授業外における学習方法》

授業の復習および授業終了時に示すキーワードを調べる。

《履修に当たっての留意点》

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。自分でもチーム医療について考えるようにしてほしい。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の起源を理解し、その要素を理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	チーム医療論とは		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の起源を理解し、その要素を理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	チーム医療論とは		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療における役割について理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	患者-医療者の関係		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療における役割について理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	患者-医療者の関係		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際を事例をあげて理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際を事例をあげて理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際に考えて理解する。	教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	これからのチーム医療		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際に考えて理解する。	教科書	授業の復習
		各コマにおける授業予定	これからのチーム医療		